



PORSCHE

01. Mar. 2016

Vol.09/16

羊の皮をかぶった狼 - ニューポルシェ 911 R の予約受注を開始

自然吸気エンジンとマニュアルトランスミッションを搭載した 限定モデルがジュネーブショーでデビュー

ポルシェ ジャパン株式会社（本社：東京都目黒区 代表取締役社長：七五三木 敏幸）はポルシェの伝統を受け継いだデザインによるピュアスポーツカー、ニュー911 R の予約受注を3月2日(水)より全国のポルシェ正規販売店にて開始いたします。

最高出力 368 kW (500 PS) を生み出す、排気量 4 リッターの水平対向自然吸気エンジンを 6 速マニュアルスポーツトランスミッションと組み合わせた 911 R は、1967 年にホモロゲーションモデルとしてデビューした初代 911R の伝統を受け継いでいます。限定生産の 911 R (R = Racing) は、ラリー、タルガ・フローリオ、スピードトライアルなどで活躍しました。伝説を残した初代モデルと同様、ニュー911 R も、体系的な軽量設計、最高のパフォーマンス、そして純粋なドライビング体験によって独自の個性を作り上げています。991 台だけが限定生産されるこの特別なモデルは、車両総重量が 1,370 kg であることから、現時点では最軽量の 911 モデルです。高回転型の 6 気筒自然吸気エンジンとスポーティなマニュアルトランスミッションによって、ポルシェは、とりわけエモーショナルなハイパフォーマンススポーツカーを作っていく所存であることを示しています。ポルシェ モータースポーツにより開発された 911 R は、レーシングモデルの 911 GT3 や 911 GT3 RS と共に、高性能自然吸気エンジンを新たな次元に押し上げます。

911 R のリアに搭載されている 4 リッター水平対向 6 気筒エンジンは、911 GT3 RS から継承したものです。このレーシングエンジンは、最高出力 500 PS / 8,250 rpm、最大トルク 460 Nm / 6,250 rpm を発生。さらに、静止状態から 3.8 秒で車両を 100 km/h の車速に到達させます。純粋主義に徹したこの 911 は、軽量設計が施されただけでなく、特別に 6 速マニュアルスポーツトランスミッションが搭載されました。ショートストロークにより、アクティブなドライビング体験を際立たせます。911R の推進力は、車速が 323 km/h に達するまで衰えることがありません。また、走行距離 100 km あたりの燃料消費量 (NEDC) は 13.3 リッターとなっています。

純粋な血統を維持するドライビングマシン：レーシングカーのテクノロジーを採用

911 R は、タイトなコーナーを走り抜けるために作られた 1 台であると言っても過言ではありません。標準装備となっているリアアクスルステアは、911 R 向けに特別なチューニングが施してあるため、優れた安定性を確保しながら、ダイレクトなターンイン特性と精緻なハンドリングを確かなものにします。また、機械式のリアディファレンシャルロックは、トラクション性能を最大限に引き上げます。そして、この上なく大きな制動力を確実に発揮するのが、標準装備に含まれるポルシェ・セラミックコンポジット・ブレーキ (PCCB) です。ブレーキディスクの直径は、フロントが 410 mm で、リアは 390 mm です。ウルトラハイパフォーマンス

タイヤは路面を確実にグリップ。そのトレッド幅は、フロントが 245 mm で、リアは 305 mm です。これらのタイヤを装着するホイールはどちらもマットアルミニウム仕上げの 20 インチ軽量ホイールで、中央部にはセンターロック機構が備わっています。

ポルシェ モータースポーツのエンジニアは、ポルシェ・スタビリティ・マネージメントシステム (PSM) の制御システムに対して 911 R 独自のチューニングを施しました。完璧なシフトチェンジを実現させるためのスイッチを押すことによってシフトダウンの際にはダブルクラッチ機能が作動します。これはオプションのシングルマスフライホイールと同様、911 R の数ある特徴のひとつです。シングルマスフライホイールはエンジンの素早いレスポンスと高回転時のダイナミクスを大幅に改善しています。日常走行における実用性が制限されないよう、リフトシステムをオーダーすることも可能です。このリフトシステムは、ボタン操作ひとつでフロントアクスルのロードクリアランスを約 30 mm 増大させます。

車両総重量 1,370 kg の 911 R は、911 GT3 RS の重量を 50 kg 下回っています。ボンネットとフェンダー部分にはカーボンを使用し、ルーフにはマグネシウムを使用。これによって車両の重心位置は低くなりました。リアウインドウとリアサイドウインドウは軽量プラスチック製です。このほかにも、インテリアのインシュレーターを削減したり、リアのベンチシートを排除したりすることで軽量化が図られました。エアコンのオプション化などによって一層の軽量化を推し進めています。

羊の皮をかぶった狼 :クラシックな 911 のルックスと GT レーシングカーのテクノロジーが融合

911 R のエクステリアは控えめな印象を与えるデザインに仕上がっており、ひと目見た限りでは 911 カレラのボディに似ています。しかし、911 GT3 で馴染みのあるフロントノーズとリアボディだけは、911 R の出自をほのめかしています。この車が誕生したのはフラハトにあるポルシェ モータースポーツであることから、911 R は数々の技術的特徴をボンネットの下に隠し持っています。GT3 RS の駆動技術を採用しているのもこうした理由によるものです。軽量なボディのコンポーネントとシャシー全体は、全てが 911 GT3 を起源としたものです。しかし、一般道の走行を目的としたモデルであるため、固定式リアスポイラーが備わっていません。その代わりに、カレラ シリーズで馴染みのあるリトラクタブル式のリアスポイラーと、911R 専用のリアアンダーボディディフューザーが必要なダウンフォースを確保します。フロントエプロンとリアエプロンは 911 GT3 と同じもので、スポーツエグゾーストシステムはチタニウムを素材とした軽量構造です。また、フロントのリップスポイラーはデザインを新しくしました。サイドボディのポルシェ ロゴと、ボディの中央部全体にあしらわれたレッドもしくはグリーンストライプは、伝説を築いた先代モデルとの関連を示しています。

運転席のシートはカーボン製のフルバケットシートで、シート中央部には“ペピータ”タータンデザインのファブリック素材を採用し、1960 年代に誕生した初代 911 を思い出させます。ドライバーのステアリング操作を受ける GT スポーツステアリングホイールは 911R 専用にデザインされたもので、直径は 360 mm です。シフトチェンジは、ストロークを短く設計してある専用のシフトレバーとクラッチペダルによって行います。助手席の脇に設けられたカーボン製のトリムストリップには、911 R のシリアルナンバーを記したアルミニウム製のバッジが埋め込まれています。典型的な GT モデルであることから、ドアオープナーにはプルストラップを採用しました。

ニュー ポルシェ 911 R 希望小売価格

2016年3月2日より

車種	トランスミッション	ハンドル	希望小売価格 (消費税込価格)
ニュー ポルシェ 911 R	6速MT	右 / 左	¥26,290,000

<本件に関する読者からのお問い合わせ先>
ポルシェ カスタマーケアセンター 0120-846-911
ポルシェ ホームページ <http://www.porsche.co.jp>

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>
ポルシェ ジャパン株式会社
広報室 / 塚原 久 木内洋治
〒153-0064 東京都目黒区下目黒 1-8-1 アルコタワー16F
TEL : 03-5436-5936 FAX : 03-5436-5919

ポルシェ ジャパンプレスサイト <https://press.jp.porsche.com>